

甲府商工会議所早期景気観測システム

調査結果概要報告(12・1月)

- ・調査期間 平成21年1月13日から1月30日
- ・調査対象 当所会員事業所 200社
回収数 135社 67.5%
- ・調査項目 12・1月の業況・売上・採算等についての状況
(DI値を集計)及び、業界として当面とする問題

DI(デフュージョン・インデックス)とは業況・売上・採算等の各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の多いことを示す。例えば、回答した企業100社のうち30%の企業が売上が増加し、10%の企業が減少した場合、DIは30% - 10%で20ポイントとなる。しかしこれは売上高などの実数値の上昇率を示すのではなく、強気・弱気などの経営者マインドの相対的な広がりを意味する。

業況・採算・金融の貸出し:(好転) - (悪化)

売上:(増加) - (減少)

仕入単価:(下落) - (上昇)

従業員:(不足) - (過剰)



業況DIは過去5年間で最悪値も、原油価格の下落・円高による輸入原材料価格の下落で仕入単価DIは、3期連続の改善。

12・1月の状況を見ると、全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は前期(10・11月期)水準(55.9ポイント)から13.0ポイント悪化の68.9ポイント(前年同期比21.6ポイント悪化)で、過去5年間で最悪値となった。売上DIは58.5ポイントで前期に比べて13.0ポイント悪化(前年同期比20.0ポイント悪化)、採算DIは61.5ポイントで、前期に比べて11.2ポイント悪化(前年同期比19.6ポイント悪化)した。

全産業合計の仕入単価DIの推移では、前期(10・11月期)の40.6ポイントから19.3ポイントで21.3ポイント改善、3期連続の改善となった。産業別の仕入単価DIでも全業種で改善が見られた。

しかし、全産業合計の業況DIは、調査開始(平成6年4・5月期)以来88期連続マイナス水準であり、マイナス2桁水準では平成6年10・11月期以来86期連続となっている。

産業別に見ると、

製造業の業況 DI は、 68.4ポイントで前期に比べてマイナス幅が35.1ポイント悪化し、前年同期と比較してもマイナス幅が31.8ポイント悪化した。業種別で見ると食品は 54.5ポイントで前期と比較するとマイナス幅が27.2ポイント悪化し、前年同期と比較してもマイナス幅が9.0ポイント悪化している。工業製品は 71.4ポイントで前期と比較するとマイナス幅が38.1ポイント悪化し、前年同期と比較してもマイナス幅が93.6ポイントと大幅に悪化している。宝飾は 70.0ポイントで前期と比較するとマイナス幅が25.6ポイント悪化し、前年同期と比較しても15.5ポイント悪化している。食品からは、為替による輸入原材料の下落や燃料費の下落傾向など良い状況であるが、消費の動向に不安があるとの声が聞かれる。工業製品からは世界的な景気悪化に伴う消費低迷を受け、2009年1月以降、非常に厳しい景況が見込まれ、先行きに不安を感じるとの声が聞かれる。

建設業の業況 DI は、 53.8ポイントで前期に比べてマイナス幅が8.7ポイント改善し、前年同期と比較してもマイナス幅が21.2ポイント改善している。業種別で見ると建築は 62.5ポイントで前期と比較すると20.8ポイント改善し、前年同期と比較してもマイナス幅が27.5ポイント改善している。また土木は 66.7ポイントで前期と比較すると同水準で、前年同期と比較するとマイナス幅が13.3ポイント改善している。鉄鋼では 46.7ポイントで前期と比較するとマイナス幅が6.6ポイント改善し、前年同期と比較しても18.0ポイント改善している。建設業全体の業況 DI は若干改善されたが、鉄鋼からは2008年12月以後、急速に仕事量が減少しているとの声が聞かれる。

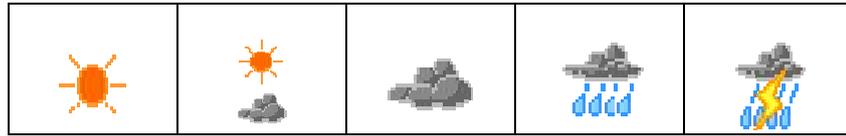
卸売業の業況 DI は、 77.8ポイントで前期に比べマイナス幅が23.6ポイント悪化し、前年同期と比較してもマイナス幅が35.7ポイント悪化している。業種別では、食品は 83.3ポイントで前期と比較するとマイナス幅が16.6ポイント悪化し、前年同期と比較しても83.3ポイントと大幅に悪化している。その他は 62.5ポイントで前期と比較するとマイナス幅が18.1ポイント悪化し、前年同期と比較してもマイナス幅が12.5ポイント悪化している。その他の業種からは、原油価格の下落に伴い、仕入価格は下がるものの、需要の減退により先行き不透明で不安であるとの声が聞かれる。

小売業の業況 DI は、 71.9ポイントで前期と比較するとほぼ同水準で、前年同期と比較すると21.9ポイント悪化している。業種別では、大型店は 50.0ポイントで前期と比較すると同水準で、前年同期と比較すると33.3ポイント悪化している。食品は 42.9ポイントで前期と比較するとマイナス幅が7.1ポイント改善したが、前年同期と比較すると5.4ポイント悪化している。大型店からは、1月9日の降雪が影響し、全体的に低調な状況であり、特に衣料品の低迷が大きく影響しているとの声が聞かれ、趣味・日用品からは、高額商品を値下げしても、売れない状況であるとの声が聞かれる。

サービス業の業況DIは、76.2ポイントで前期と比較するとマイナス幅が13.7ポイント悪化し、前年同期と比較してもマイナス幅が51.2ポイントと大幅に悪化している。業種別にみると、ホテル・旅館は77.8ポイントで前期と比較するとマイナス幅が40.3ポイント悪化し、前年同期と比較すると61.1ポイントと大幅に悪化している。観光は83.3ポイントで前期と比較するとマイナス幅が33.3ポイント悪化し、前年同期と比較しても69.0ポイントと大幅に悪化している。飲食では66.7ポイントで前期と比較するとマイナス幅が33.3ポイント改善したが、前年同期と比較すると23.8ポイント悪化している。観光からは冬季の観光客は少なく、不況のあおりか宿泊客も少ないとの声や円高により海外旅行へのフォローはあるものの、景気後退で減少傾向であり、先行き不安との声が聞かれる。飲食からは業況DIが改善したものの、企業の忘新年会の減少や景気に大きく左右される外食産業なだけに今年1年は厳しい感があるとの声が聞かれる。

全産業合計の業況DIの向こう三ヶ月の先行き見通しは65.2ポイントと前期と比べ9.3ポイント悪化となった。原油価格の下落や円高による輸入原材料価格の下落傾向で仕入単価も下降傾向であるが、景気の後退により消費の低迷が続き、先行きに不安を感じるとの声が聞かれる。

景況天気図



とくに好調 好 調 まあまあ 不 振 きわめて不振

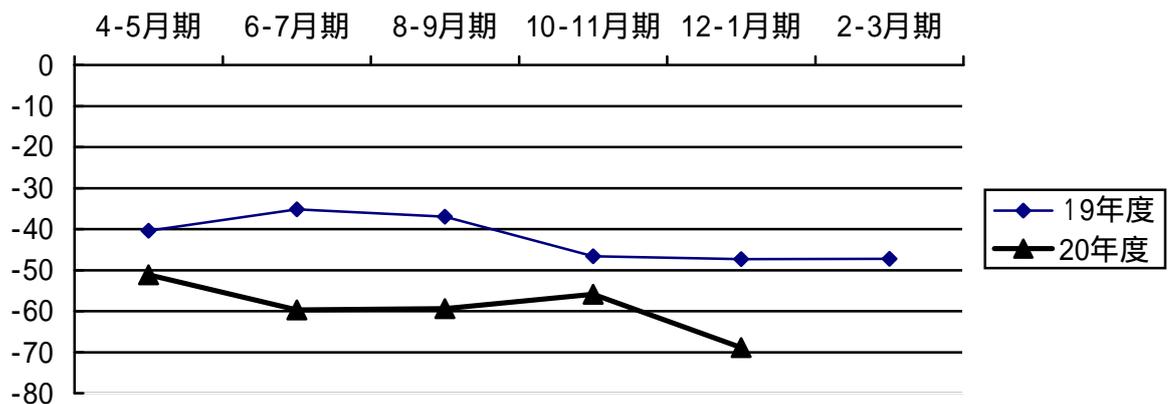
(5 0 DI) (2 5 DI < 5 0) (0 DI < 2 5) (2 5 DI < 0) (DI < 2 5)

1 2 ・ 1 月 期

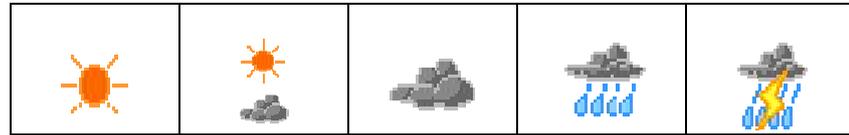
	全 産 業		製 造 業		卸 売 業		建 設 業		小 売 業		サ ー ビ ス 業	
	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し
業況	68.9	65.2	68.4	52.6	77.8	77.8	53.8	73.1	71.9	59.4	76.2	76.2
売上	58.5	55.6	63.2	42.1	50.0	55.6	53.8	73.1	65.6	46.9	52.4	71.4
採算	61.5	57.0	57.9	50.0	61.1	61.1	61.5	69.2	59.4	43.8	71.4	71.4
仕入単価	19.3	5.9	10.5	0.0	22.2	16.7	26.9	3.8	15.6	9.4	28.6	14.3
従業員	14.8	17.8	36.8	28.9	16.7	27.8	3.8	23.1	0.0	0.0	9.5	9.5
金融の貸出し	15.6	20.0	18.4	18.4	5.6	11.1	26.9	42.3	9.4	9.4	14.3	19.0

業況DIの推移(前年同期比)

	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月
業況(19年度)	- 40.4	- 35.2	- 37.0	- 46.6	- 47.3	- 47.2
業況(20年度)	- 51.1	- 59.7	- 59.4	- 55.9	- 68.9	



景況天気図



とくに好調 好 調 まあまあ 不 振 きわめて不振

(5.0 DI) (2.5 DI < 5.0) (0 DI < 2.5) (2.5 DI < 0)(DI < 2.5)

製造業

	製 造 業		食 品		家 具		工 業 製 品		宝 飾		織 維	
	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し
業況	68.4	52.6	54.5	54.5	100	50.0	71.4	57.1	70.0	50.0	66.7	50.0
売上	63.2	42.1	45.5	36.4	100	0.0	71.4	71.4	60.0	50.0	66.7	33.3
採算	57.9	50.0	45.5	54.5	100	25.0	71.4	57.1	40.0	40.0	66.7	66.7
仕入単価	10.5	0.0	54.5	18.2	50.0	25.0	0.0	28.6	70.0	10.0	50.0	33.3
従業員	36.8	28.9	27.3	27.3	25.0	0.0	28.6	28.6	50.0	40.0	50.0	33.3
金融の貸出し	18.4	18.4	9.1	0.0	25.0	25.0	14.3	0.0	30.0	30.0	50.0	50.0

建設業

	建 設 業		建 築		土 木		鉄 鋼	
	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し
業況	53.8	73.1	62.5	50.0	66.7	100	46.7	80.0
売上	53.8	73.1	50.0	50.0	100	66.7	46.7	86.7
採算	61.5	69.2	87.5	37.5	100	66.7	40.0	86.7
仕入単価	26.9	3.8	37.5	12.5	33.3	0.0	20.0	13.3
従業員	3.8	23.1	12.5	25.0	0.0	66.7	0.0	13.3
金融の貸出し	26.9	42.3	12.5	25.0	66.7	66.7	26.7	46.7

景況天気図



とくに好調 好調 まあまあ 不振 きわめて不振
 (5.0 DI) (2.5 DI < 5.0) (0 DI < 2.5) (2.5 DI < 0) (DI < -2.5)

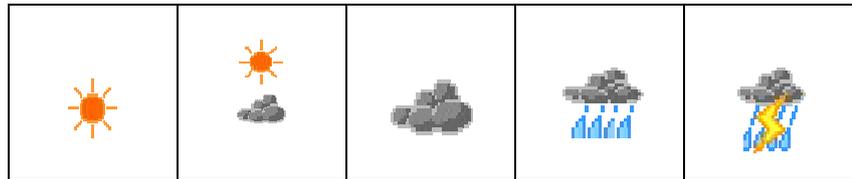
小売業

	小売業		大型店		食品		事務用品		日用品・趣味		家電	
	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し
業況	71.9	59.4	50.0	50.0	42.9	42.9	100	66.7	80.0	60.0	100	100
売上	65.6	46.9	75.0	75.0	28.6	14.3	100	33.3	86.7	66.7	0.0	66.7
採算	59.4	43.8	25.0	0.0	42.9	14.3	100	66.7	66.7	60.0	66.7	66.7
仕入単価	15.6	9.4	25.0	0.0	28.6	42.9	66.7	66.7	13.3	0.0	66.7	66.7
従業員	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
金融の貸出し	9.4	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	6.7	6.7	33.3	33.3

卸売業

	卸売業		食品		繊維		その他	
	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し
業況	77.8	77.8	83.3	66.7	100	100	62.5	75.0
売上	50.0	55.6	83.3	50.0	50.0	50.0	25.0	62.5
採算	61.1	61.1	83.3	50.0	50.0	50.0	50.0	75.0
仕入単価	22.2	16.7	33.3	16.7	25.0	25.0	12.5	12.5
従業員	16.7	27.8	33.3	33.3	0.0	0.0	12.5	37.5
金融の貸出し	5.6	11.1	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

景況天気図



とくに好調 好 調 まあまあ 不 振 きわめて不振
 (5 0 DI) (2 5 DI < 5 0) (0 DI < 2 5) (2 5 DI < 0) (DI < 2 5)

サービス業

	全般		ホテル・旅館		観光		飲食	
	今 期	先見 通 行し	今 期	先見 通 行し	今 期	先見 通 行し	今 期	先見 通 行し
業況	76.2	76.2	77.8	66.7	83.3	83.3	66.7	83.3
売上	52.4	71.4	66.7	66.7	66.7	66.7	16.7	83.3
採算	71.4	71.4	66.7	66.7	83.3	50.0	66.7	100
仕入 単価	28.6	14.3	44.4	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7
従業員	9.5	9.5	11.1	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7
金融の 貸出し	14.3	19.0	11.1	22.2	16.7	16.7	16.7	16.7